



様子^{86さい}は今日も元気^ミです!

—我らが会長 大木祥子の極上マインド近況報告—

昨年祥子を襲った恐怖の出来事

2024年8月29日、長崎に台風が上陸するとの予報で路面バスは運休、学校や会社も休みとなっていました。しかし、予報は外れ、台風は来ませんでした。私は以前から気になっていた玄関前の雑草を片付けようと思い立ちました。少しの時間で終わるだろうと、スマートフォンを家に置いたまま作業に取り掛かりました。

作業が終わり、立ち上がろうとしたその瞬間、左足が滑ってしまい、そのまま尻もちをつくように転んでしまいました。立ち上がろうと試みましたが、足に力が入らず、何度やっても同じでした。隣家は少し離れており、こんな時に限ってスマートフォンは家に置いたまま。私は誰かが通りかかるのを待つしかありませんでした。

奇跡の出会い

ぼんやりと庭を眺めていると、駆け寄ってきてくれたのは新聞配達員の男性でした。彼は私の様子を見て、すぐに救急車の手配と家族への連絡をしてくれました。しばらくして、私は担架に乘せられ救急車に運び込まれました。その際、同乗していた隊員が「12時22分預かりました」と言っているのが聞こえ、転んでから2時間も座り込んでいたことを初めて知りました。

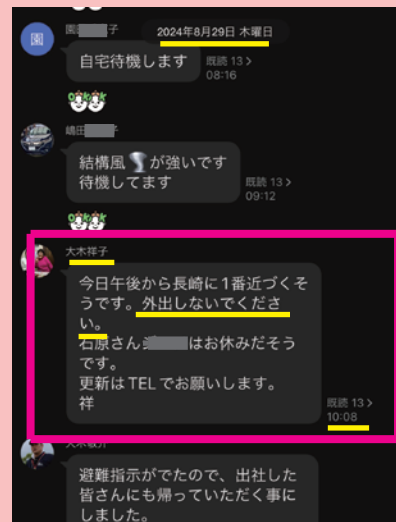
前向きな様子

診断の結果は骨折でした。その後、手術は無事に終わり、経過も順調。段階的にリハビリに取り組み、最終的には杖で歩けるほどにまで回復することができました。

「転倒しないように」と周りの人たちに話していたにもかかわらず、まさか自分自身がこのようなことになるとは思っていませんでした。しかし、3か月にわたる入院生活は、差し入れていただいたクロスワードパズルや、昔から好きな読書、友人からの励ましの電話のおかげで、心は元気なままでいられました。

どこまでも前向きな様子

現在は週に2回訪問リハビリに来ていただき、その一環で、杖を使って大浦周辺を散歩したり、路面電車に乗車することもあります。以前のように思うように足が動かないときもありますが、無理のない範囲で体を動かし続けたいと考えています。これからも、目標を持って取り組み、楽しむことを忘れずにいたいと思います。



▲事故直前の社内グループLINE



リハビリの様子



ホームページや
Instagram等
SNSで祥子の近況
も配信しています
みてね!



@sachisyoku_bigone